

機械器具 51 医療用嘴管及び体液誘導管  
 一般医療機器 チューブ用クランプ (JMDN コード 43223000)  
**ユーシン チューブホルダー アーサー**

**再使用禁止****【禁忌・禁止】**

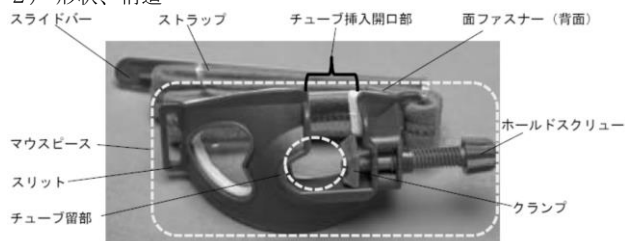
- 1) 再使用禁止 [交差感染のおそれがある]。
- 2) 24 時間を超えて使用しない [細菌の繁殖による感染症や皮膚の炎症を引き起こすおそれがある]。
- 3) ホールドスクリューで気管内チューブを過度に圧迫しない [気管内チューブ内の気体の流れを制限し、患者の換気を阻害するおそれがある]。

**【形状、構造及び原理等】**

## 1) 概要

本品は患者に挿管した気管内チューブの形状の変化を抑えながら固定する器具であり、マウスピース、ストラップ、スライドバー、ホールドスクリューで構成される。本品は滅菌済であり、無菌野で使用することができる。

## 2) 形状、構造



前面図



背面図

**【寸法】**

ストラップ : 約 620 (長さ) × 20 (幅) mm  
 マウスピース : 約 110 (幅) × 42.3 (奥行) × 63.7 (高さ) mm  
 チューブ挿入開口部 : 20 (幅) mm

**【仕様】**

チューブ留部 (固定可能チューブ外径) : 6.0~18mm

**【体に接触する部分の原材料】**

マウスピース (フォーム以外) : ポリプロピレン  
 マウスピース (フォーム) : エチレン酢酸ビニル共重合体  
 ストラップ : ポリエステル

**【使用目的又は効果】**

挿管されたチューブをつまみ保持する。

**【使用方法等】**

- 1) マウスピースのチューブ挿入開口部が患者の足側を向くようにし、チューブ挿入開口部から患者に挿管された気管内チューブがチューブ留部に沿うように留置する。
- 2) バイトブロックを患者の口腔内に挿入し、背面のフォームを患者の顔面に密着させる。

- 3) ストラップがねじれないように、スライドバーを仰臥位の患者の首の下を通して反対側に出し、マウスピースの背面からスリットの形状に合わせて通す。
- 4) スライドバーを取り外し、ストラップを折り返して緩まないように面ファスナーで固定する。
- 5) 気管内チューブをチューブ挿入開口部に密着させ、ホールドスクリューを締めて固定する。

**【使用上の注意】**

[重要な基本的注意]

- 1) 単回使用であり滅菌済みのため、滅菌包装のシールの状態を確認して、包装材に損傷がないことを確認する。クランプで気管内チューブを圧迫し過ぎない。無理にホールドスクリューを進めて気管内チューブを圧迫し過ぎると気管内チューブ内の気体の流れを制限し、患者の換気を阻害するおそれがある。
- 2) 使用方法の手順を守る。ストラップでマウスピースの位置を固定後、気管内チューブがチューブ留部に密着していることを確認して、クランプをホールドスクリューで進める。気管内チューブのずれや偶発的抜管のおそれがある。
- 3) バイトブロックを挿入する際は、患者の唇等を巻き込まないように注意する。
- 4) 使用中は、患者の皮膚や口腔内、気道の状態を監視し、必要に応じて適切な処置を行なう。
- 5) 小児に使用しない。患者の口腔内を圧迫するおそれがある。

**【保管方法及び有効期間等】**

- 1) 保管方法  
水濡れに注意し、直射日光および高温多湿を避けて保管する。
- 2) 有効期限  
包装の使用期限を参照する (自己認証による)。

**【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】**

(製造販売業者)

株式会社ユーシンメディカル  
 Tel. 03-5844-1415

(製造業者)

Hangzhou Shanyou Medical Equipment Co., Ltd.  
 (中華人民共和国)